

(2026 年 7 月号掲載)

群馬県民の情報取得ソースに関する調査

群馬経済研究所 研究部副部長 伊勢和広

調査のポイント

「情報化社会」の進展が著しいなかで、群馬県民はどのような形で情報を取得しているのでしょうか。県民が利用する情報取得ソース等を把握するため、アンケート調査を実施した。

要約

- 普段利用している情報取得ソース(情報源・メディア)を尋ねたところ、「テレビ」「ニュースサイト・アプリ」「SNS」「動画サイト」「新聞(紙購読)」の順で利用度が高かった。また、情報源としての「信頼性」「速報性」「内容のわかりやすさ」の評価項目すべてで、「テレビ」が最上位となった。
- ニュースを得るために利用するデバイス(媒体・機器)としては、「テレビ」と「スマートフォン」が約6割で拮抗している。
- 情報取得する際に困っていることでは、「正しい情報がわからない」が約半数を占め、「情報量が多すぎる」、「広告・CMが多すぎる」が続いた。

アンケート調査の概要

調査方法：インターネットアンケート調査

調査期間：2026 年 5 月 11 日～5 月 18 日

調査対象先：群馬県内に在住する 20 歳以上の男女

回答者数：489 名